

第1回ラウラ松本あり方検討委員会 会議録

日 時	令和8年7月29日（水） 午前10時から11時30分まで
会 場	松本クリーンセンター管理棟3階 大会議室
出 席 者	古田委員長、太田副委員長、羽多野委員、茂木委員、林委員、塩原委員、村田委員、小林委員、矢原委員
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 委員自己紹介 4 正副委員長の選出 5 会議事項 (1) 施設の概要 (2) 委員会の役割 (3) 実施予定調査 (4) 委員会スケジュール及び各回検討内容 6 その他 7 閉会
正副委員長の選出	4 正副委員長の選出 それぞれの委員が選出された。 委員長 古田 成志 委員 副委員長 太田 敏 委員
会議事項	5 会議事項 (1) 施設の概要 資料1、資料2（併せて「せせらぎ通信」）について、事務局から説明があった。 (2) 委員会の役割 (3) 実施予定調査 (4) 委員会スケジュール及び各回検討内容 資料3、資料4及び資料5について、事務局（支援事業者）から説明があった。

【質疑応答】

《羽多野委員》

資料3の図で、「調査内容」の3番目「利用者・地域住民のニーズ」を調査することになっていますが、「地域住民のニーズ」をどのように調査するのか資料4及び資料5に記載がないと思われます。どのように調査するのでしょうか。

《事務局（支援事業者）》

地域の方のニーズ把握に関しては、まだ正直、どのようにやるか確定していないのですが、一つのアイディアとして、Webで調査をしてみてもどうかという話が出ています。

Webだとご高齢の方が答えられないというご指摘があるかと思いますが、そのあたりに関しては、今後、色々な方の声を集められるようなやり方を検討してお示ししたいと考えています。

《塩原委員》

今の利用者調査の関係で、構成市村ごと、もしくはそれ以外の自治体も含めて調査をされるということですが、これは施設の利用ごとの調査でしょうか。例えばプールとか温浴施設とか、そのようなイメージでよろしいですか。

《事務局（支援事業者）》

このラウラ自体が複数の施設を有しておりますので、その施設ごとに使われた方に対してアンケートをとれるような形になっております。例えば、プールを使われて温浴施設も使われるという方もいらっしゃると思いますが、この施設内で何と何を使ったかというのは、しっかり把握できるような調査に設計してあります。

《塩原委員》

あともう一つ。財政シミュレーションについて、例えば修繕で大体どのくらいの費用が掛かるのか。ついては、その費用は今後何年間でどのくらい掛かるのか、そのようなものは作られる形でしょうか。

《事務局（支援事業者）》

財政シミュレーションに関して、今回の検討でそこまで示せるかというのは要相談になります。というのも、あり方がどのようになるか決まっていないので、決まらないと実際どのくらいお金が掛かるのか試算ができないところがありますので、今回の検討で詳細なシミュレ

ーションまで出せるかという、ちょっと難しいんじゃないかというのが現状でございます。

《林委員》

方向性を決定していく上で確認をさせていただきたいのですが、初めの説明の中で、このラーラ松本が建設された目的を3点ご説明いただきました。この目的は変えずにあり方を検討していくということで良いでしょうか。

《事務局》

はい。目的は特に変える予定はございません。

《林委員》

わかりました。どういう目的を持っているかということが、改修など、どういった施設を作っていくかという一つの方向性になっていくのかなと思いますので、ちょっと確認をさせていただきました。

2点目に、あり方検討委員会のスケジュールを資料5でお示しをいただいたところですが、いつまでに改修を行わなければいけないのか。

というのは、劣化度調査もされていて、この施設がいつまで持つのかによって、あり方検討が令和9年の8月までになっているかと思うんですが、例えばこの先1年しか持たないとか、まだもうちょっと持つよというところで、改修の方法が変わってくるのではないのかなと思います。1年間で済ませられる改修にとどめるのか、もうちょっと時間が掛かるものにするのか。そのあたりというのは、今明らかになっているものなのか、それとも今後明らかにしていくものなのか教えていただきたいと思います。

《事務局》

改修の仕方にも当然よってくると思いますし、皆さんご存知のように新しいゴミ処理施設の建設も進んでおります。そういった数々の要素がございますので、このあり方で方向性を出していただいて、それを受けて次のラーラに向けてということで考えておりますので、今の段階で何年から改修を始める、あるいは何年を目指してということは、はっきりとご提示できないというところでございます。

補足ですけれども、次回第2回で劣化度調査の内容をまとめてお話しするところがございます。劣化度調査の中で、ここはこのくらいですよというふうに出ている部分につきましては、お知らせできると考えております。

「林委員」

あと二点ありまして、これも明らかになっているかどうかというあたりなんですが、目的の一つに余熱利用があると思います。電気の方は発電した分を売電すれば良いのかなと思いますけれども、余熱がラーラ松本の施設の使い方によって変わってくる場合があるのかなと思うんです。そのあたりの影響みたいなものは、あり方に関して影響があるようでしたら、データがあったら良いのかなと思います。

例えば、現状使われている余熱で、余ってしまう部分が出るか出ないか、そういったあたりもあり方を検討していく上では一つの判断材料になるのかなと思うので、もし可能であれば、そういったデータも示していただけたらなと思います。

「事務局」

承知しました。

「林委員」

最後にもう一点、ここが多分一番重要になるのかなと思うんですが、目的を達成していくために資金計画をどのようにしていくのか。掛かるお金は掛かるお金としてあるかなと思いますが、それに対しての歳入をどうしていくか、そういったあたりも検討材料の一つになってくるかなと思いますので、お示しをしていただけたらと思います。

「事務局」

今、林委員からありました財政に関しましても、このあり方を進めていく中で当然お示しはしていくつもりでありますので、よろしくお願いします。

「太田副委員長」

今の質問に関連して、細かいデータは次回いただいてお話ししていただけるようですが、極端な話、いつまでもつのかということなんですよね。このクリーンセンターも令和15年には建てないと、もう次のごみが焼けないというようなことがあって、期限が決まってきているということもありますので、ラーラはいつまでもつんですかと。

リニューアルすると105億かかるという試算がありますよね。で、普通の時に建てるのに49億で建てているんだから、“そんなにリニューアルするなら、まるっきり壊しちゃって、新しく建てればいいじゃん” 例えばですけどね。それはこの後の検討になると思うんですけど、本当にいつまでもつの、そのために修繕費どれだけ掛ければいいのかですね、何年間掛かるのか。そういうもののの中で、いやもうこれは見切

りをつけて、早く建て直した方がいいじゃないかって後々考えるとね。
というようなこともあると思うので、さっき林委員が言ってくれたことは非常に大事だと思うので、事務局の方でシミュレーションみたいなものを出していただければ、“いや、俺たちこのまま使えばいいじゃん”、“いや、だめだ壊すじゃん”とか色んな話になってくるんじゃないかなと思いますので。確かに騙し騙しやってもだめなので、“どこかで踏ん切り付けるじゃん”というのは大事だと思うので、それがすぐなのか、20年後の方がいいのか、それによっては、あり方検討の中身が変わってくるかなと思いますので。難しいかもしれませんが、ざっくりのシミュレーションをお出しいただければありがたいなと思います。

《事務局（支援事業者）》

第2回の検討になる内容なんですけれども、過年度に実施した劣化度調査ですね、ラーラ松本は複合施設的な施設ですので、劣化の度合いも施設によってずいぶん違うというところがあるんですね。

また、劣化の状況もランクがあって、AからDというランクがついていてですね。Aというのは、なるべく早急的速やかにやった方がよくて、BとかCとかいろいろあるのが、まだらに今なっているような状況なんですね。

第2回目で、そのあたりの劣化が激しいところはどこで、まだ持ちそうなところはどこかというのは、過去の調査結果をある程度は示せるかと思うんですけれども、それが全て複合されて建物としてどうかという判断は、なかなか難しくてですね。この部分は劣化が激しい、この部分は劣化しているけどまだしばらくはもつというような、そういう状況になっていますので、そのあたりの状況をお示した上で、部分的に改修していくのが良いのか、そうであれば全部壊した方が良いのか、そういった議論を今後していただく形になるのかなというところ です。

そのため、建物全体が全部だめという状態ではないというところは、次回しっかりお示ししたいなというふうに考えています。

《矢原委員》

実施予定調査の地域動向等の調査の中に含まれているかなと思うんですけれども、近年、学校のプール、小学校とかですね、老朽化、少子化でコストが増えていたりとか、あとは熱中症のリスクとかで学校のプールが廃止してしまうということで、地域の公共のプールや民間のプールで授業を行うところも増えてきていると聞いているので、そういった学校の動向も地域動向の調査に含めていただけると良いのかな

と思いました。よろしくお願いいたします。

《事務局（支援事業者）》

今、委員にご指摘いただいた、学校で特に小中学校でプールを廃止されているという話は把握しております。

行政が公共施設再配置計画とか整備計画とか作っていて、その中でプールの話が出てきていけば、計画上、把握できるという形になっています。ただ、各自治体の計画を全部見ていないので分からないんですけれども、もしかしたら計画に載っていないものもあるかもしれませんので、そのあたりも拾えるように、例えば、構成市村の担当者の方がこちらにいらっしゃると思いますので、情報提供をいただくなりして追加で整理できるような工夫をしてみたいと考えています。

《塩原委員》

もう1回お願いしたいんですけれども、参考となる事例ということで類似のところの調査をされると思うんですが、このラーラ松本は構成市村で施設の利用に係る移動距離、道路距離みたいなものにかなりばらつきがあると思うんですよね。

例えば、それぞれの市役所もしくは役場から道路距離を測ると、一番近いところが松本市で5.3kmなんですけれども、一番遠い塩尻市ですと20.3kmでかなり開きがある。こういった移動距離にかなり開きがあるところの利用状況みたいなものはどうなのか、というデータもいただけたら欲しいなと思っています。

ちなみに、この前に見学した東知多も、移動距離が一番近いところと遠いところで4倍ぐらい差があるというような事例でした。

こういったところで一番の課題は、遠い自治体ですと、これから出てくるであろう利用率が、たぶん極端に低くなるだろうと思っています。そのままでもいいのかとなると、逆に負の面が出てきてしまうので、そういったところにも先ほどの話じゃないんですけれども、小中学校みたいなところで利用する、活動をしているところがあるとか、代替手段として利用率を高めるとか、そういった手段を検討するということができるかどうかということも含めて、情報が欲しいなと思っていますのでお願いします。

《事務局（支援事業者）》

利用距離というとアクセス性ですね。

今のラーラ利用者の地域的な分布みたいなことは把握をしようというふうに考えております。今、塩原委員がおっしゃったように、アクセス距離が遠ければ遠いほど利用が下がるんじゃないかということを想

	定しております。 先進事例としてアクセスの課題を解決する、解決しているということまで視野に入れて、先行事例を調べようと思ってはいなかったのですが、今、ご指摘いただいて事務局とも相談して、そういう事例が必要というふうに事務局が判断するのであれば、そこは対応してまいりたいと考えています。 《塩原委員》 事前に閑散期の利用率をちょっと調べてきているんですね。松本市ですと67.5%、塩尻市ですと3.8%、山形村ですと0.6%、朝日村ですと1.4%、安曇野市ですと23.8%、その他が2.7%、そういった実績があると。これだとちょっとよろしくないなというところで、ちょっとお願いしたいなというところです。 《古田委員長》 他にご意見、ご質問等ございますか。 現段階では特によろしいでしょうか。ありがとうございます。 皆さんからのご意見、ご質問、あと事務局からご回答がございましたように、ラーラ松本自体の建設の経緯、目的というのは明確で、それはぶれないというところで、検討を進めていくというような形になっております。一方、当たり前かもしれないですけど、お金とかそういった諸々の資源というのは限りがあるので、今後、あり方を検討していく際には、非常にせめぎあいが難しくなるような判断をしていく部分もあるかと思います。 一方で現状調査も、やり方によって難しい部分もあれば対応できるというところもあるかと思うので、事務局の方で今出たご意見を踏まえて、今後のデータ提供等々していただければ幸いに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
そ の 他	6 その他 (1) 次回、第2回あり方検討委員会の開催日程（予定）について、事務局から案内があった。 第2回委員会：令和8年10月30日（金）午後2時（予定） (2) 会議後のラーラ松本施設見学について、事務局から案内があった。
閉 会	7 閉会